

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題

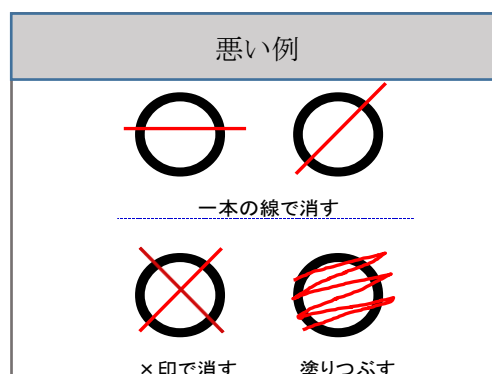
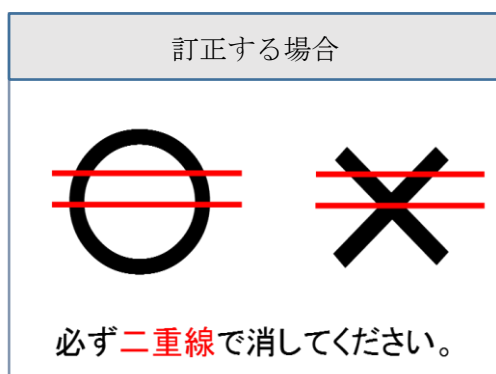
試験実施日 令和7年4月21日

事業者名 _____

受験者名 _____

【注意事項】

1. 試験時間は、45分間です。
2. 解答はボールペンで記載して下さい。
3. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないで下さい。
4. 問題用紙は、表紙を含めて 5 枚です。
5. 問題用紙は、持ち帰らないで下さい。
6. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格となります。



事務処理欄		
		/ 30

中部運輸局

問 1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

1 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に届け出なければならない。

()

2 一般貸切旅客自動車運送事業とは、一個の契約により乗車定員 11 人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する一般旅客自動車運送事業である。

()

3 道路運送法第 5 条第 1 項第 3 号の事業計画のうち一般貸切旅客自動車運送事業に係るものには、営業所ごとに配置する事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載するものとする。

()

4 旅客自動車運送事業の乗務員は、事業用自動車の中で喫煙してはならない。

()

5 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、30 日前までに届け出なければならない。

()

6 一般貸切旅客自動車運送事業者事業者の運転者は、乗務中、運行指示書を携行しなければならない。

()

7 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業のため利用させてはならない。

()

8 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の数が 200 両以上でなければ、安全統括管理者を選任する必要はない。

()

9 一般旅客自動車運送事業の許可を受けた者が、その事業を休止したときは、休止した日から30日以内に届出すればよい。

()

10 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対して点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び運行状況について報告を求めなければならない。

()

11 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者の任意により、運送引受書を交付することができる。

()

12 旅客自動車運送事業者は、運行管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から5年を経過しない者であっても運行管理を補助させるための者であれば、選任することができる。

()

13 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。

()

14 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

()

15 旅客自動車運送事業者は毎事業年度の経過後に輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報を公表しなければならない。なお、その内容を国土交通大臣に報告する義務はない。

()

問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を()に記載して下さい。

16 道路運送法における「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、()で、自動車を使用して旅客を運送する事業である。

- 1 7 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあつては、前年7月1日から6月30日までの期間に係る変更について、毎年（ ）までに届け出るものとする。
- 1 8 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者に対して、勤務終了後、継続（ ）時間以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとする。
- 1 9 旅客自動車運送事業者の従業員は、その職務に従事する場合は、輸送の安全及び旅客の（ ）を確保することに努めなければならない。
- 2 0 一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な（ ）をしてはならない。

問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記号を記入して下さい。

- 2 1 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる（ ）及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

〔A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員の研修〕

- 2 2 一般旅客自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人が被相続人の経営していた一般旅客自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後（ ）日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

〔A. 40 B. 50 C. 60〕

- 2 3 旅客自動車運送事業者は、苦情を申し出た者に対して（ ）、弁明しなければならない。

〔A. 誠実に B. 時間を定めて C. 遅滞なく〕

- 2 4 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（ ）を記載した領収証を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りでない。

〔A. 計算基礎 B. 適用方法 C. 見積額〕

- 25 旅客自動車運送事業者は、() 以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。
[A. 2月 B. 6月 C. 1年間]
- 26 一般貸切旅客自動車運送事業における業務記録の保存期間は () 間である。
[A. 6ヶ月 B. 2年 C. 3年]
- 27 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の () を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。
[A. 履歴書 B. 乗務員等台帳 C. 乗務員証]
- 28 一般貸切旅客自動車運送事業において、営業所に配置する事業用自動車の数が40両の場合に必要な運行管理者の選任数は () 人である。
[A. 2 B. 3 C. 4]
- 29 自動車の () は、当該自動車道路運送車両法の規定に基づく保安基準に適合するように必要な整備をしなければならない。
[A. 運転手 B. 所有者 C. 使用者]
- 30 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の () を受けなければ、その効力を生じない。
[A. 許可 B. 認可 C. 承認]

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題(回答)

試験実施日 令和 7 年 4 月 2 1 日

問 1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に届け出なければならない。

[道路運送法第 9 条の 2] (○)

- 2 一般貸切旅客自動車運送事業とは、一個の契約により乗車定員 1 1 人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する一般旅客自動車運送事業である。

[道路運送法第 3 条、道路運送法施行規則 3 条の 2] (○)

- 3 道路運送法第 5 条第 1 項第 3 号の事業計画のうち一般貸切旅客自動車運送事業に係るものには、営業所ごとに配置する事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載するものとする。

[道路運送法施行規則第 4 条] (×)

- 4 旅客自動車運送事業の乗務員は、事業用自動車の中で喫煙してはならない。

[運輸規則第 4 9 条] (○)

- 5 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、3 0 日前までに届け出なければならない。

[道路運送法第 1 1 条] (×)

- 6 一般貸切旅客自動車運送事業者の運転者は、乗務中、運行指示書を携行しなければならない。

[運輸規則第 5 0 条] (○)

- 7 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業のため利用させてはならない。

[道路運送法 3 3 条] (○)

- 8 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の数が 2 0 0 両以上でなければ、安全統括管理者を選任する必要はない。

[道路運送法第 2 2 条の 2] (×)

- 9 一般旅客自動車運送事業(路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者を除く。)の許可を受けた者が、その事業を休止したときは、休止した日から30日以内に届出すればよい。

[道路運送法第38条] (×)

- 10 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者等に対して点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び運行状況について報告を求めなければならない。

[運輸規則第24条] (○)

- 11 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者の任意により、運送引受書を交付することができる。

[運輸規則7条の2] (×)

- 12 旅客自動車運送事業者は、運行管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から5年を経過しない者であっても運行管理を補助させるための者であれば、選任することができる。

[道路運送法第23条の2、運輸規則第47条の9] (×)

- 13 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。

[運輸規則第35条] (○)

- 14 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

[運輸規則第47条] (○)

- 15 旅客自動車運送事業者は毎事業年度の経過後に輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報を公表しなければならない。なお、その内容を国土交通大臣に報告する義務はない。

[運輸規則第47条の7] (×)

問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を()に記載して下さい。

- 16 道路運送法における「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、(有 償)で、自動車を使用して旅客を運送する事業である。

[道路運送法第2条]

- 1 7 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあつては、前年7月1日から6月30日までの期間に係る変更について、毎年（七月三十一日）までに届け出るものとする。

[道路運送法施行規則第66条]

- 1 8 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者に対して、勤務終了後、継続（ 1 1 ）時間以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとする。

[自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条第1項4号]

- 1 9 旅客自動車運送事業者の従業員は、その職務に従事する場合は、輸送の安全及び旅客の（ 利 便 ）を確保することに努めなければならない。

[運輸規則第2条]

- 2 0 一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な（差別的取扱い）をしてはならない。

[道路運送法第30条]

- 問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記号を記入して下さい。

- 2 1 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる（ A ）及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

[A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員の研修]

[運輸規則第48条の3]

- 2 2 一般旅客自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人が被相続人の経営していた一般旅客自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後（ C ）日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

[A. 40 B. 50 C. 60]

[道路運送法第37条]

- 2 3 旅客自動車運送事業者は、苦情を申し出た者に対して（ C ）、弁明しなければならない。ただし、氏名及び住所を明らかにしない者に対しては、この限りでない。

[A. 誠実に B. 時間を定めて C. 遅滞なく]

[運輸規則第3条]

2 4 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（ **A** ）を記載した領収証を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りでない。

[A. 計算基礎 B. 適用方法 C. 見積額]

[運輸規則第 1 0 条]

2 5 旅客自動車運送事業者は、（ **A** ）以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

[A. 2 月 B. 6 月 C. 1 年間]

[運輸規則第 3 6 条]

2 6 一般貸切旅客自動車運送事業における業務記録の保存期間は（ **C** ）間である。

[A. 6 ヶ月 B. 2 年 C. 3 年]

[運輸規則第 2 5 条]

2 7 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに、一定の様式の（ **B** ）を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えておかなければならない。

[A. 履歴書 B. 乗務員等台帳 C. 乗務員証]

[運輸規則第 3 7 条]

2 8 一般貸切旅客自動車運送事業において、営業所に配置する事業用自動車の数が 4 0 両の場合に必要な運行管理者の選任数は（ **B** ）人である。

[A. 2 B. 3 C. 4]

[運輸規則第 4 7 条の 9]

2 9 自動車の（ **C** ）は、当該自動車道路運送車両法の規定に基づく保安基準に適合するように必要な整備をしなければならない。

[A. 運転手 B. 所有者 C. 使用者]

[道路運送車両法第 4 7 条の 2]

3 0 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の（ **B** ）を受けなければ、その効力を生じない。

[A. 許可 B. 認可 C. 承認]

[道路運送法第 3 6 条]